

甲斐市立玉幡小学校 令和4年度 学校だより 第3号



チーム玉幡

令和4年5月24日 文責：小林 正彦

子どもたちの 成長を見守って



玉幡小学校の校庭は、多くの木々で囲まれていて、新緑の季節を迎えました。環境問題が大きく取り上げられている昨今、このような自然環境の中で教育活動ができることを、本当にありがたく思っています。

自分の家や近所の庭を見ると、草花が花を持ち始めました。学校でも、1年生が植えたチューリップの花が、今後きれいな色をつけてくれると思います。その花を見ながら、前に読んだ「花と人間の可能性について」の記事を思い出しました。その内容を少し紹介します。



チューリップにはチューリップの花が、水仙には水仙の花が当然のごとく咲きます。私たち人間は、それを何の不思議さも感じないで見えています。ちょっと違った見方をすると、水仙にチューリップの花をつけることはありません。人間の成長に置き換えて考えると、子どもたちの成長も、その子ども固有の花があるはずで、その子らしい花を咲かせることや、その子らしいしっかりとした実をつけること、そのことが「子どもの無限の可能性」というのだと思います。私たち



大人はともすると、水仙よりチューリップの方が、色が鮮やかでかわいいと望み、咲く花（見る花）を限定してしまうことがあります。それぞれの花には固有の花が咲き、それぞれが、それぞれで美しいのです。

私たち教員の間では、金子みすずさんの詩の言葉を用いて「みんなちがって みんないい」と、よく表現します。子どもたちの実態に合った教育活動を行い、子どもたちの無限の可能性を引き出せるように、努めていきたいと改めて思いました。そのことが、子どもたちの笑顔につながると信じています。

盛り上がった児童総会

5月6日（金）の3、4校時、児童総会が行われました。この会に向け担当教員から、参集型の総会をして良いか相談を受けました。玉幡小の体育館は、市の体育館でもあるので他校より広く、間隔を十分にとれることから、3年生から6年生が集まったの児童総会を行いました。いつもより間隔を広めに座り、 unnecessary 会話を避けて実施しました。今年度の児童会スローガンは『心をつなぐあいさつで えがおの花を満開にしよう！』に決まりました。



「たのしくみんなで たてわり活動」や「まいにちえがおで あいさつ活動」・「ハッピーあふれる えがお活動」・「ただしくがんばるめあて活動」が、今年度の活動の柱です。

この柱をもとに、子どもたち自身が、毎日が楽しく送れる玉幡小学校にしていってほしいと思います。児童会の願いが叶うよう、学校としても応援します。

今年度は、「日本一のろうか」に関して、児童総会中に話し合い活動を取り入れました。

「なぜ走ってはいけないのか」「事情があるときにも走ってはいけないのか」など、具体的な



内容に踏み込んで、クラスごとにその場で話し合いを行いました。児童の意識を高めるための取り組みですが、その場を運営する側の力量も問われます。その場で話し合っている子どもたちの姿、運営している本部の人たち、玉幡小学校児童会が一つにまとまっていた時間でした。一つ一つの取り組みをしっかり行いながら、全校児童の笑顔が増えていくことを期待しています。

史上最幸の思い出となった 修学旅行

『実践！～めざせ！玉小史上最幸の修学旅行～』をテーマに、5月18日（水）～20日（金）、2泊3日の修学旅行が実施されました。昨年度は2学期に延期され、1泊2日の実施でしたが、今年度は予定通り実施することができました。6年生の保護者の皆様には、修学旅行に向けての感染症対策に関して、行動の自粛など踏み込んだお願いをしまし



た。コロナ禍の状態にある現状では、状況によっては延期の可能性もありました。保護者の皆様のご協力で、感染症の影響なく出発することができました。本当にありがとうございました。

一日目の鎌倉見学では、「座禅体験」「鶴ヶ丘八幡宮」「大仏」「長谷寺」を見学しました。「座禅体験」では、静かな時間の中で、しっかりとした姿勢で臨んでいました。



二日目は、ディズニーランドでの班活動でした。コロナ禍でのディズニーは、人数制限もあり、わりとすいていました。通常では1時間待ちの人気アトラクションも、30分程度の待ち時間となっていました。その分、子どもたちは多くの乗り物に乗ることができたようです。



三日目、「JFE スチール東日本製鉄所」の見学、「カップヌードルミュージアム」の体験活動がありました。山下公園での昼食は、予想以上の人手があり、昼食場所の確保に苦労しました。遠足のように、お弁当を横浜の名所で食べることは私自身初めてでしたが、海を間近に感じられいいなと思いました。



お天気に恵まれた三日間、計画通りの活動ができました。担任は、子どもたちの集中力を高めるため、スローガンが書かれた紙を要所で示していました（右側写真の紙）。6年生は、学校を代表する素晴らしい態度でした。さすが、玉小の最上級生です。この後、5年生の林間学校も予定されています。感染症対策をとりながら、安全第一に、有意義な活動を目指してほしいと思います。



